

1) 日本シミュレーション学会英文誌 **Journal of Advanced Simulation in Science and Engineering(JASSE)**では、未投稿の「原著論文」を受付けています。

迅速で公平な編集を心がけておりますので、ぜひ、みなさまの先端的な研究成果をご投稿ください。

投稿規定など、詳細はこちらをご覧ください。

<http://jasse.jsst.jp/>

2) 日本シミュレーション学会英文誌 **Journal of Advanced Simulation in Science and Engineering(JASSE)**の下記特集号の締切り延長のお知らせ

Special Section on “Semiconductor Device Simulation”

Special Section on “Simulation on Mechanical Engineering”

Special Section on “Visualization and Simulation Software”

<http://jasse.jsst.jp/cfp/>

に関して締切を1か月延長し、9月30日(火)までとなっております。

【3】 イベントニュース, 人事公募情報一覧

=====

[First announcement][主催]

・ 国際会議 AsiaSim & JSST 2014 について

今回の JSST の年次大会は、北九州市で開催される国際会議 Asia Simulation Conference (AsiaSim)に続けて開催いたします。

>> <http://asc2014.jsst.jp/>

- AsiaSim 2014: 10月26日(日) ~ 28日(火)

- JSST 2014: 10月29日(水) ~ 30日(木)

場所: 北九州国際会議場

参加登録の期限は、9月30日です。

AsiaSim 2014 と JSST 2014 のどちらかだけでも参加可能です。

皆様、奮ってご参加ください。

Subject: 2014年 JINSE シンポジウム「論より統計！」(2014-10-25)

統計教育大学間連携ネットワーク (JINSE) では、以下の通り、今年のシンポジウムを開催することになりました。

ご希望の方は、次の申込みサイトから登録をお願いします (参加無料)

<http://kokucheese.com/event/index/208131>

多数の方のご参加をお待ちしています。

2014 年度 統計教育大学間連携ネットワーク (JINSE) シンポジウム
論より統計！ データサイエンス力の高い人材の育成にむけて

企画 統計教育大学間連携ネットワーク (JINSE)

日時 2014 年 10 月 25 日 (土) 14:00 ~ 17:30

会場 東京大学工学部 2 号館 213 号講義室

プログラム

開会にあたって

仙波 憲一 (青山学院大学 学長)

長谷川壽一 (東京大学 理事・副学長)

14:10 -- 15:40 講演

司会 川崎 茂 (日本大学 経済学部 教授)

須江雅彦 (総務省 統計研修所長・大臣官房 統計情報戦略推進官)

「経済成長を担うデータサイエンス力の高い人材育成 --- 中央統計機関の取り組み」

鈴木督久 (日経リサーチ 取締役)

「企業のマーケティング活動とデータサイエンス」

15:40 -- 16:00 休憩

16:00 -- 17:20 パネルディスカッション

『データサイエンス力とは何か』

司会 丸山 宏 (総合研究大学院大学 複合科学研究科 教授)

パネリスト

安宅和人 (ヤフー株式会社 CSO : Chief Strategy Officer)

酒折文武（中央大学 理工学部 准教授）

中川慶一郎（NTT データ 数理システム 取締役）

今泉 忠（多摩大学 経営情報学部 教授）

17:20 閉会挨拶

西郷 浩（早稲田大学 政治経済学術院 教授）

シンポジウム終了後，18:00 より懇親会を開催します．

会場：カポ・ペリカーノ，会費：5000 円（事前申込みが必要です）

主 催

統計教育大学間連携ネットワーク（JINSE）

文部科学省 大学改革推進等補助金

大学間連携共同教育推進事業 平成 24 年度採択

「データに基づく課題解決型人材育成に資する統計教育質保証」

連携大学

東京大学，大阪大学，総合研究大学院大学，青山学院大学，

多摩大学，立教大学，早稲田大学，同志社大学

連携団体

大学入試センター，日本アクチュアリー会，日本科学技術連盟，

日本銀行，日本経済団体連合会，日本製薬工業協会，日本統計協会，

日本マーケティング・リサーチ協会

連携学会

応用統計学会，日本計算機統計学会，日本計量生物学会，

日本行動計量学会，日本統計学会，日本分類学会

後 援

統計関連学会連合，関係府省（打診中）

/ - - - - - □

J-STAGE News e-mail(J-STAGE からのお知らせ)

2014/09/22 号 【JST 配信版】

□ - - - - - /

J-STAGE News e-mail(J-STAGE からのお知らせ)は、科学技術振興機構

(JST)の運営する学術電子ジャーナルプラットフォーム「J-STAGE」による
機関誌『J-STAGE News』の内容を中心に、電子ジャーナル関連の最新情報
をお届けします。(J-STAGE : <https://www.jstage.jst.go.jp/>)

- - - - -

■J-STAGE News No.37 が公開されています

https://www.jstage.jst.go.jp/pub/jnews/J-STAGE_NEWS_NO37.pdf

今号も電子ジャーナルの「今」と「未来」を考える情報満載です。

おもな記事：

- ・ J-STAGE は、日本発オープンサイエンスのプラットフォームへ！
- ・ Google Scholar×J-STAGE セミナー「Google Scholar と日本からの電子
ジャーナル出版」
- ・ 投稿審査システム利用規約が改正されました -充実したサービスの持続
に向けて-
- ・ 日本発ジャーナルのインパクト向上をめざして
-2013年版インパクトファクター公表 / J-STAGE・トムソン・ロイター
ジョイントセミナー報告-
- ・「J-STAGE Lite(仮称)」報告説明会を開催します ほか

「電子ジャーナルの最新情報をお届けする J-STAGE 機関誌」J-STAGE News
のバックナンバーはこちらから：

<https://www.jstage.jst.go.jp/AF02S040Init/-char/ja/>

- - - - -

■Google Scholar×J-STAGE セミナー「Google Scholar と日本からの電子
ジャーナル出版」報告

2014年4月、Google より Google Scholar 創設者のお一人である Anurag
Acharya 氏を講師に迎えての特別セミナーを JST 東京本部にて、同社の全面
協力をいただき開催しました。

「もっとどのような人でも簡単にアクセスできるように」「今後は“人”

を鍵にした学術情報の検索を重視」など、GoogleScholar のサービス方針や日本の電子ジャーナルコンテンツへの期待を軸に、さまざまなトピックを紹介いただきました。講演に引き続いての Q&A セッションでは、会場から多くの質問が寄せられ、丁寧にご回答をいただきました。

(くわしくは本文をご覧ください)

https://www.jstage.jst.go.jp/pub/jnews/J-STAGE_NEWS_NO37.pdf

■日本発ジャーナルのインパクト向上をめざして
-2013 年版インパクトファクター公表-

7月30日(日本時間) トムソン・ロイター社より、2013年のインパクトファクター(IF)が公表されました。IFは、同社のWeb of ScienceR データベースに収録されている学術誌について、その学術誌に掲載された論文が一定期間内において平均してどの程度引用されたかを示す値です。分野や雑誌の内容・形態等によって数値の傾向は大きく異なり、単純に比較などをすることはできません。また、あくまでも雑誌タイトルについての数値であり、掲載される論文についての指標ではありませんが、その学術誌の影響度を示すめやすの一つとして広く知られています。

日本から刊行されている学術誌のうち、インパクトファクターを取得している雑誌は240誌あまりありますが、そのうちおよそ100誌がJ-STAGEから発行されています。今年新たにインパクトファクター付与対象となった日本の雑誌は1誌、Journal of Nippon Medical School 誌(日本医科大学医学部会様)で、同誌はJ-STAGE 利用誌です。なお、J-STAGE 掲載誌の中で最もIFが高かったタイトルはCirculation Journal 誌(日本循環器学会様)(3.685、前年比+0.107)でした。

(続きは本文をご覧ください)

https://www.jstage.jst.go.jp/pub/jnews/J-STAGE_NEWS_NO37.pdf

■JaLC / CrossRef 合同ワークショップ、11月6日(木)、横浜で開催!

ジャパンリンクセンター(JaLC)運営委員会では、第16回図書館総合展において、フォーラム「識別子ワークショップ JaLC、CrossRef、DOI、ORCID、そして…」を開催いたします。

武田英明(国立情報学研究所教授)、Ed Pentz(CrossRef Executive Director)、Salvatore Mele(CERN)の各氏から、今後の科学技術・学術情報流通を担う鍵となる識別子の最新動向などをお話しいたします。

(くわしくは本文をご覧ください)

https://www.jstage.jst.go.jp/pub/jnews/J-STAGE_NEWS_NO37.pdf

- - - - -

(J-STAGE 利用学協会の皆様へ)

・J-STAGE からのお知らせは「新着情報」ページをご確認ください

イベントやシステム改善、サービスの開始・終了など、利用学協会様向けの新着情報は、下記のページでご確認いただけます。事業方針等についての重要なお知らせ等も掲載してまいります。どうぞご覧ください。

https://www.jstage.jst.go.jp/pub/html/AY04S520_ja.html

- - - - -

□e-mail 版 編集後記

ノーベル賞の動向が気になる時季を前に、2014年イグ・ノーベル賞受賞論文"Frictional Coefficient under Banana Skin" (バナナの皮の滑りやすさを実験で解明。北里大学医療衛生学部・馬淵清資教授ら)が話題になりました。この論文、J-STAGEに掲載されています(Tribology Online, Vol.7(2012) No.3)。「イグ」ノーベルとはいうものの、世界的な好奇心が食指を動かした、大変興味深い魅力的な論文です。まだお読みでない方はぜひ一度ご覧になってみては!

<http://dx.doi.org/10.2474/trol.7.147>

/ - - - - -

J-STAGE News e-mail(J-STAGE からのお知らせ)【JST 配信版】

J-STAGE News e-mail の配信を希望されない場合は、件名を「配信解除希望」としたメールを event@jstage.jst.go.jp にお送りください。

このメールマガジンは、J-STAGE ジャーナル(カレント公開(2012 年以降更新)のジャーナルおよび予稿集等)発行機関様の連絡先公開アドレスにお送りしています。

配信先情報は J-STAGE システムから定期的を取得しているため、最近メールアドレス登録を変更された場合には、反映が遅れる場合がございます。

なお、事務担当者様などで個別配信を希望される場合は、下記まぐまぐ版にご登録ください。(基本的に同一内容を配信しております)

新規読者登録(まぐまぐ版)はこちらから：

<http://archive.mag2.com/0001117703/index.html>

□JST(科学技術振興機構)知識基盤情報部 研究成果情報グループ

□<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/-char/ja>

□東京都千代田区四番町 5-3 サイエンスプラザ

□event@jstage.jst.go.jp

□Twitter: @jstage_ej

□ - - - - -

=====

** 日本学術会議ニュース・メール ** No.466 ** 2014/9/26

=====

■-----

ICSU アジア・太平洋地域事務所からの御案内

「7th South China Sea Tsunami Workshop (第7回南シナ海における津波ワークショップ)」

-----■

国際科学会議(ICSU)のアジア太平洋地域事務所長 Mohd. Nordin Hasan 先生からワー

すが、

今月中でしたら受け付け可能とのことですので、参加ご希望の場合

には、

至急以下のホームページからご提出下さい。

(字数 : 400word 以内)

<http://krs.bz/scj/c?c=79&m=21449&v=d74e301f>

アブストラクト採用の可否の連絡 : 2014 年 10 月 1 日

ロングアブストラクト提出日 : 2014 年 10 月 15 日

参加登録締切 : 2014 年 10 月 30 日

【参加についての追加情報】

- 9 月中にショートアブストラクトを提出された場合には、口頭発表もし

くは

ポスター発表を行って頂けます。

- ショートアブストラクトをご提出頂かない場合は、発表なしの形でワ

ーク

ショップにご参加頂けます。

- ご質問等は、以下の「■ 問い合わせ先」まで。

■ 参加費用

一般: 250 USD

学生: 150 USD

台湾国内一般: 5000 NTD

台湾国内学生: 2500 NTD

若手科学者については登録料の免除制度があります。

詳細は以下のホームページでご覧になれます :

<http://krs.bz/scj/c?c=80&m=21449&v=d324653c>

免除制度についての問い合わせ先 :

Ms. Xiaoyan Wang (wangxy@cstam.org.cn)

- 主催者 Institute of Hydrological Sciences, National Central University (Taiwan)
School of Civil and Environmental Engineering, Cornell University (USA)
National Museum of Natural Science (Taiwan)
921 Earthquake Museum of Taiwan (Taiwan)

- 詳細 下記にあります URL をご参照ください。

<http://krs.bz/scj/c?c=81&m=21449&v=76aff532>

- 問い合わせ先 Institute of Hydrological and Oceanic Sciences,
National Central University
Address: No.300, Jhongda Rd., Jhongli City,
Taoyuan County 320, Taiwan (R.O.C)

Telephone: +886-3-4227151 # 65685

FAX: +886-3-4222894

E-mail: scstw@ncu.edu.tw

(Ms. Mei-Hui Chuang)

■-----
共同主催国際会議の募集について（ご案内）

■-----

日本学術会議では昭和 28 年度以降、国内の学術研究団体が国内で開催する国際会議のうち、「学問的意義が高く」、「科学的諸問題の解決を促進する」等、特に重要と認められる国際会議について共同主催を行うことにより、学術研究団体への支援・協力を行っています。

この度、平成 29(2017)年度に開催される国際会議を対象に、平成 26 年 10 月 1 日(水) ~ 11 月 28 日(金)まで共同主催の募集を行います。

詳細についてはこちらをご覧ください。

<http://krs.bz/scj/c?c=82&m=21449&v=43424361>

本件問い合わせ先：日本学術会議事務局 参事官（国際業務担当）付国際会議担当
(TEL：03-3403-5731 FAX：03-3403-1755 Mail：i254@scj.go.jp)

日本学術会議では、Twitter を用いて情報を発信しております。

アカウントは、@scj_info です。

日本学術会議広報の Twitter のページはこちらから

<http://krs.bz/scj/c?c=83&m=21449&v=e6c9d36f>

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから

<http://krs.bz/scj/c?c=84&m=21449&v=28992fc7>

人事公募情報一覧

新情報

ございません。

既存情報

情報・システム研究機構国立情報学研究所の特任教員（女性）公募について

応募締切 2014 年 10 月 24 日（金） 必着

<http://www.jsst.jp/j/information/jinjikoubo/information20140917-1.pdf>

情報・システム研究機構国立情報学研究所の研究教育職員公募について

応募締切 2014 年 11 月 28 日（金） 必着

<http://www.jsst.jp/j/information/jinjikoubo/information20140917-2.pdf>

[電気通信大学 知能機械工学専攻 教員公募のお知らせ] 准教授 1 名

応募締切 2014 年 10 月 14 日（火） 午後 5 時（日本時間）必着

>><http://www.jsst.jp/j/information/jinjikoubo/information20140723.html>

[独立行政法人海洋研究開発機構からの研究員もしくは技術研究員公募のお知らせ]

応募締切 2014 年 10 月 20 日（月） 必着

>><http://www.jsst.jp/j/information/jinjikoubo/information20140828.html>

■ニュースレターの配信アドレスの変更、配信停止、各種お問い合わせ先

=====

- ・ 配信アドレスの変更および配信停止をご希望される場合には、題名をそれぞれ「アドレス変更」「配信不要」として、日本シミュレーション学会事務局 office@jsst.jp までご送信ください。
- ・ 各種お問い合わせおよび本ニュースレターについてのご意見は、下記までお願いいたします。
- ・ 貴学あるいは貴所で外部の方も参加できる講演会や催しが御座いましたら会員で共有したいと存じます。何かございましたら是非事務局に情報をお送り頂きますようお願いいたします。

ニュースレター配信依頼の原稿は、原則、月曜日の配信となります。

（なお、月曜日が祝日の際は、前後する場合がございますので、ご了承ください。）

・ -----

一般社団法人 日本シミュレーション学会

事務局

〒162-0808

東京都新宿区天神町 78

T E L : 03-3235-2150 / F A X : 03-3268-3057

e - m a i l : office@jsst.jp

ホームページ : <http://www.jsst.jp/j/>

----- •